



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会社名 株式会社 サンゲツ
代表者名 代表取締役 安田 正介
社長執行役員
(コード番号 8130 東証・名証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 伊藤 研治
社長室長
(TEL. 052-564-3314)

中期経営計画（2017-2019）「PLG 2019」策定に関するお知らせ

当社グループは、2019 年度（2020 年 3 月期）を最終年度とする 3 ヶ年の中期経営計画（2017-2019）「PLG 2019」を策定しましたので、下記のとおり概要をお知らせいたします。

記

1. 策定の趣旨

当社は2014年からは「第三の創業」と位置付け、従来の創業家を中心とした経営体制より脱皮し、社員が経営を担う真の上場企業として発展することを目指し、同年中期経営計画（2014-2016）「Next Stage Plan G」を策定の上、将来の成長に向けた事業基盤の整備と事業戦略の再構築のためのさまざまな施策を実行してまいりました。

事業基盤の整備においては、組織の改編、人事・給与制度改革や物流設備・事務所設備・ショールーム等の新設・統廃合、商品デザインや見本帳の刷新、また新たなブランディングを制定し、社内外への発表と浸透などを行いました。

また、事業戦略の再構築においては、事業における機能強化と事業の拡大を目的に、主力仕入先への出資、内装施工企業や米国壁装材企業の買収、中国での新会社設立等を実行しました。

一方で、ステークホルダーからの評価向上策として、株主の皆さまへの還元と資本効率の向上を目的とした資本政策を発表し、株主還元策の拡充を実施いたしました。

これらの結果、定量目標である2017年3月期 売上高1,400億円は未達成となったものの、連結当期純利益63億円は2016年3月期に一年前倒しで達成することができました。

しかしながら、売上高達成に向けた販売力の強化や、「Next Stage Plan G」で未実現となっている施策、また2018年3月期においても更に販売費及び一般管理費の増加が見込まれるなど様々な課題も存在し、これら課題に対しての対応が重要となっております。

このような状況下、将来の事業環境の変化を見据え、「Next Stage Plan G」で達成したさまざまな成果を活かしつつ、未実現の施策と新たな施策を着実に実行することにより、持続的なサンゲツグループの企業価値創造を目指し、今般、中期経営計画（2017-2019）「PLG 2019」を策定いたしました。

2014年3月期と中期経営計画(2014-2016)「Next Stage Plan G」3ヵ年の結果

(単位：百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
売上高	131,978	132,050	133,972	135,640
前年比	107.2%	100.1%	101.5%	101.2%
売上総利益	36,055	37,510	39,527	40,104
売上比	27.3%	28.4%	29.5%	29.6%
販売費及び一般管理費	27,102	29,478	30,415	32,532
売上比	20.5%	22.3%	22.7%	24.0%
営業利益	8,952	8,031	9,112	7,572
売上比	6.8%	6.1%	6.8%	5.6%
経常利益	9,475	8,506	9,463	8,368
当期純利益	5,459	4,402	6,393	6,570
売上比	4.1%	3.3%	4.8%	4.8%
総資産	145,903	143,076	139,220	158,277
自己資本	119,887	118,758	108,517	108,892
ROE	4.55%	3.71%	5.89%	6.03%

2. 新中期経営計画「PLG 2019」の概要

1) 成長の為の事業戦略

基本方針：内装材事業(企画・調達・物流・販売)の地理的拡大、機能強化

- ①安定的かつ基礎的収益源である日本市場において、バリューチェーンでの機能強化・取組領域の拡大により収益の安定的成長を実現
- ②成長力のある海外市場での活動を強化、地理的な展開を拡大するとともに商品面・機能面での拡充を実行
- ③デザインのグローバル化、製造メーカーのグローバル化に呼応し、グローバルな商品の企画・調達体制を構築
- ④地域での事業を担う関係会社・機能を担う関係会社・専門市場を担う関係会社を統合的に経営し、トータルシナジーを生む為の連結経営体制を強化
- ⑤次期中期経営計画を睨み業態の転換の試行を重ねる

2) 人的資源の強化

- ①プロ人材の育成
- ②能力主義の徹底
- ③ダイバーシティの推進
- ④働き方改革
- ⑤健康経営の推進

3) 収益管理体制の強化

- ①販売管理費の削減と管理の徹底
- ②グループ各社へのCCC管理の導入
- ③サンゲツ各事業部・各支社での経営管理指標の明確化と進捗管理

4) ESG/CSR 方針

①環境

サンゲツグループの事業全体の環境負荷を把握し、地球温暖化防止や持続可能な資源循環に向けての体制を構築

②社会

- ・グループ各社の多様な従業員の活躍を支援するとともに社会的弱者の就労支援
- ・サプライチェーンにおける社会的責任の推進
- ・社員が主体的となった社会貢献活動の拡大

③ガバナンス

- ・コーポレートガバナンスの透明性の維持と向上、コンプライアンスの徹底

5) 資本政策

①資本効率向上に向けた財務方針

資本市場の状況を鑑みつつ、引き続き自己株式取得と安定的増配を行い
1,050～1,000 億円への削減を目指す。

②中期経営計画期間中の株主還元政策

- ・3年間トータルの連結総還元性向は100%超とする。
- ・長期安定的な増配の基本方針に基づき、安定的増配を実行する。
- ・株式市場の状況に応じて機動的に自己株式を取得する。

3. 主要経営数値目標(連結)

◆最終年度 2019 年度(2020 年 3 月期)

目標 ROE 8%～10%

◆付随目標

売上高 1,650 億円～1,750 億円

当期純利益 80 億円～100 億円

自己資本 1,050 億円～1,000 億円

CCC 75 日～60 日

※ 中期経営計画の詳細につきましては、5 月 24 日開催の決算説明会にてご説明いたします。
なお当日の配布資料は同日弊社ホームページに掲載いたします。

※ 本資料は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上